

第7回CS会（学校運営協議会） 式次第

司会 八木橋 小百合

記録 横田 みぎわ

- 1 会長あいさつ 会長 塚松 美穂
- 2 学校の状況について 校長 秋國 光宏
- 3 議題
 - (1) ケヤッキーとだんらん(2月開催)
 - (2) 広報活動について

記録

第7回 CS会

◎学校状況について

- ・不登校児童のための卒業指導
本校単独で運営へ
- ・令和6年度学校経営方針
次会CS会までのご意見を

PTAはなる
コトが
つなかりを
取り戻したい

◎ケヤッキーのだんらん(2月開催)

- ・地域の声「三小が本までどけう」
何を話すのか、開催が難しいのか
- ・策地本願寺での企画を参考に
"OOを話から来て!"は来にくい
何か参加しやすい企画と同時開催

保護者に来てほしい
来る人が決まらなくらい
火があると人が集まる
小さいキャンプファイヤを設置
マシマシ焼きたても楽しい
気軽に学校に来る雰囲気作り

「タウンミーティング」のイメージ
参加は高校生以上(卒業生も)
地域で活動する団体が話し合う場
→地区協と同じ「人も集まりたい」
既存の組織があるわけ「だんらん」

・コミュニティスクールの立ち上げ途中
「三小」が強い地域
組織の充実が必要
※PTA 子と会の再結成
地域に何かを求めるときは
何をやるのか、内容の理解が不十分

・PTA役員のとり手が少ない
地域行事もなくなる → 余裕が少い、負担
人多い

・「三小をどうする?」町アクリ協議会で話し合う
課題を出し合う場ととらえる。人を知らない
「ふせん」文字で課題が出てくる。大切!

・PTAより課題意識 → 人が動く

・2月は「CS会と教員のだんらん...」

次回の議題

- ① ケヤッキーとのだんらん
※ CS会と教員
- ② 広報活動について